

2024年11月1日

一般社団法人平戸観光協会
平戸市

11月29日より、観光客を対象とした長崎空港・平戸市内間の 公共ライドシェアの実証運行を開始します！

～交通空白地解消・長崎空港から平戸市内へのアクセス向上を目指す～

一般社団法人 平戸観光協会と平戸市は行政や地域企業で構成された「長崎県平戸観光振興・共創プラットフォーム」による取り組みの一環として2024年11月29日(金)より平戸市内と長崎空港をつなぐ公共ライドシェア※¹の実証運行※²を実施する予定となりました。本実証では利用状況やお客様の声などから観光客の移動の足としての有効性やニーズを検証します。人口減少や担い手不足によって移動手段の不足が深刻化する平戸市においてデジタル技術を活用した新しい交通サービスの開発検証を行い、地域交通の利用増加と利便性の向上を両立させる移動手段の実現を目指します。

■背景と目的

平戸市は世界文化遺産や異国情緒ある歴史的な街並みが特徴の都市で、現在は平戸城の城下町一帯をホテル化する「アルベルゴ・ディフォー※³」など先進的な観光施策に取り組んでいます。その一方で、人口減少による慢性的なドライバー不足のため一部のタクシー事業者が閉業に追い込まれるなど、移動手段の不足が深刻化しています。また、観光の玄関口となる長崎空港から平戸市においては直通運行する交通手段がなく、観光客の目的地選定に影響をおよぼす懸念があります。

本実証では観光客を対象に長崎空港と平戸市内間の送迎や平戸市内での観光移動をサポートする公共ライドシェアを実施し、地域交通の利用者の増加と利便性の向上を両立させる域内交通および二次交通の整備を図ります。

この公共ライドシェアが実現することで、長崎空港から平戸市内へのダイレクトアクセスが可能になり、観光客および地域住民の移動需要の増加が期待できるほか、市内の主要観光スポットへのアクセスが大幅に向上し、観光の選択肢が広がることにつながります。本実証を通じて長年、平戸市の観光事業においてボトルネックとなっていた移動手段の課題を解消し、交通空白地の解消及び心に残る観光体験の提供を推進してまいります。

■実証運行の実施体制について

実証運行の実施にあたっては行政や地域企業と連携したコンソーシアム「長崎県平戸観光振興・共創プラットフォーム」を構築しました。実証運行メンバーと主な役割※⁴は下記のとおりです。

関係機関名	本実証運行における主な役割
一般社団法人平戸観光協会	運行主体。予約受付業務、ドライバー管理等
平戸市	事業支援、行政機関連携
大村市	連携協力
株式会社 Will Smart	ドライバー用アプリやユーザー向け予約システム等のデジタル基盤提供
株式会社狼煙	実証運行支援、平戸観光協会支援
平戸市愛のり交通活性化委員会	実証事業に関する協議、地元交通事業者との連絡・調整

■実証運行の概要

- 運行開始日：2024年11月29日(金)
- 利用対象者：平戸市を訪れる観光客(※利用の際は事前予約が必要です)
- 乗車定員：最大6名(乗務員除く)
- 運行エリア：平戸市内全域と長崎空港間の往復
- 料金・決済方法：定額制または距離制運賃。キャッシュレス決済。
- ドライバー：平戸市内の観光事業者及び公共交通事業者が参画予定
- 車両：ホンダ ステップワゴン 1台
- 利用方法：
 1. 専用の予約サイトから希望の日程で乗車予約をします。
 2. 予約状況に応じてドライバーが手配されます。
 3. 予約時に指定した出発地点でドライバーのお迎えをお待ちいただきます。
 4. 乗車して目的地へ向かいます。
 5. 目的地に到着したら、ドライバーアプリ上で運賃が自動で計算され、キャッシュレスで決済を完了させます。

※¹ 公共ライドシェアとは移動手段提供が困難な地域で、NPO法人や市町村などの公的関与のもと地元の輸送資源を活用する“自家用有償旅客運送制度”。タクシー事業者が行う“日本版ライドシェア”とは異なる。

※² 現在、実証運行の実施に向けて自家用有償旅客運送の新規登録を申請中。

※³ アルベルゴ・ディフーズとはイタリアで始まった「空き家問題」を観光産業で解決するための取り組み。集落の空き家などを客室に見立て、地域一体で宿泊経営を行う分散型宿泊施設の考え方。

※⁴ 日本航空株式会社が来年度以降の本運用時にプロモーション支援やMaaS連携の役割で参画予定。

【お問い合わせ】

一般社団法人平戸観光協会 TEL：0950-23-8600（対応可能時間 8:30～17:30）